

# 都市再生整備計画(第2回変更)

たきざわむら やくばしゅうへん  
滝沢村役場周辺地区

いわてけん たきざわし  
岩手県 滝沢市

平成26年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岩手県	市町村名	滝沢市	地区名	滝沢村役場周辺地区	面積	215.6 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

### 目標

大目標:滝沢市役所周辺に魅力ある行政・公益施設ゾーンを創出し、市民の交流と学習により活力あるまちづくりの拠点とする。

目標1:公共施設等を整備し、住民の生活利便の向上を図る。

目標2:市の情報発信・ブランド創出の拠点を整備し、交流人口の拡大を図る。

目標3:市内の大学や人材を活用しつつ、交流を促進し、住民活動の受け入れ先としての組織の強化を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

今般、本村を取巻く環境(地方分権・地域主権の流れ、超高齢社会の到来)、これから住民自治のあり方など調査研究を行い、「人口5万人の基礎自治体として最も適した行政体制」は『市』であることとして、この度、平成26年1月より『滝沢村』から『滝沢市』へ移行した。以降、「村」とあるのは、『市』と読み替える。

・滝沢村は盛岡市の北西部に位置し、岩手山の頂上までの約181平方キロを有する。農業は水田地帯から岩手山麓の丘陵地の酪農地帯まで、果樹(りんご)を含め多様な生産がなされている。一方、県都盛岡市に隣接する傍ら、国道4号、46号、282号という県内有数の国道が村内を通り、東北自動車道の高速インターチェンジとIGR(いわて銀河鉄道)の駅4駅を持つという類まれな立地条件から、昭和40年代後半から人口が拡大し続け平成12年には人口が5万人を超えた。

・滝沢村は、国選定無形民俗文化財チャグチャグ馬コの村としても知られ、春に風光明媚な農村地帯を100頭の装束馬が行進を行い、春から秋にかけては、日本100名山の一つ岩手山への登山客で賑わう、観光資源に恵まれた地域である。古くは中世安倍氏の居城と山城も有している。

・滝沢村は、立地条件の良さを武器に人口を増やしてきたものであるが、人口の伸びは鈍化し、高齢化率は急激に増加し、ここ2~3年で65歳以上の人口は1万人を超えようとしている。また、急激な人口増は、地域の住民の不協和音を生みやすく地域活動を難しくしている。

・一方、急激な人口の増から、地域の学校、道路、下水道などの基盤整備が進む中、村内で1箇所の公民館、県内最低規模の図書館などであり、総じてこれらの施設は不足している。

・滝沢村役場周辺は、役場庁舎、公民館、老人福祉センターなどの公共施設がある一方、総合公園(体育館、野球場、陸上競技場などの運動施設や日本庭園などの修景施設)、農協、商工会、社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの公益的な施設が集積する地区となっている。滝沢ニュータウンは、村内では一定の商業・サービス施設などの集積がなされている地区である。

・村内には、3つの大学があり、学生も多く村内に居住している。人口5万人を超える村として、多くの人材を有している。

・村では平成12年に地域の将来像を住民と共同作業により「滝沢村地域デザイン」としてまとめた。これを実現化するため10の「地域まちづくり推進委員会」が組織され、村では担当職員の配置や独自の補助事業、ホームページ等での活動紹介などの支援を続けている。また地域自治組織である27自治会について、平成16年に「自治会のあり方提言書」を策定し指針とする一方、自治会間の情報交流、研修、交付金交付などによりその活動を支援している。これらは、まちづくりを住民と協働で行う村の姿勢であり、パートナーとしてのこの関係は徐々に定着してきている。

・平成23年3月11日に起きた大震災は、被災者である我々に、防災の重要性を植え付けた。また、自治会等で自主防災会を組織するなど地域は地域で守るといった意識が強くなってきている。

#### 課題

・本村は、盛岡市の外延的に民間の宅地開発で人口が増えてきたため、村の核(へそ・顔)と言うにふさわしい場所が無い。

・公民館、図書館等が老朽化し、狭隘化し、村民の十分な利用に応えられなくなっている。

・村内の大学や学生、村民の中にある人材やノウハウが必ずしも活かされていない。また、その情報があまりない。

・地域の自治会やまちづくり団体は、奮闘しているものの、地域の高齢化や価値観の多様化の中で地域に「疲れ」が見えてきている。

#### 将来ビジョン(中長期)

・滝沢村総合計画、滝沢村都市計画マスタープラン、国土利用計画滝沢村計画などにおいて、滝沢村役場周辺は、機能の集積を図り、拠点化すべき地域として位置づけられている。

・「滝沢地域デザイン」では、役場周辺の鵜飼地区に機能集積を図ると共に、チャグチャグ馬コを中心とした観光の活性化、地域住民の憩いの場の創出、ホールや展示機能、図書館の充実などを掲げている。

・地域交流センター、図書館の建設を行い住民の学習、交流、活動支援のための交流拠点整備し、観光交流センターの建設により村内観光資源の情報発信と村新ブランドの創出

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基 準 年 度	目 標 値	目 標 年 度
地域交流センターと図書館の利用者数	人	地域交流センターと図書館の利用者数	地域交流センターと図書館を併設することにより、住民の学習を動機付けの一つにしつつ、各団体・個人のネットワーク化と交流を図る。	25,065	平成22年度	150,000	平成28年度
まちづくりコミュニティー交流回数	回	地域まちづくり推進委員会、自治会、NPO、大学等が交流を行う回数	各団体が交流を図ることで、情報交換を行い、村民活動の受け入れ先としての組織の強化・活性化に繋げる。	5	平成22年度	10	平成28年度
役場周辺地域のイベント回数	回	役場周辺地域において地域活性のために行うイベントの回数	地域交流センター、観光交流センターでの交流・新企画創出のしきみから新たなイベントに繋げる。	5	平成22年度	10	平成28年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<b>整備方針1</b> （地域交流拠点の充実による学習・交流・団体活動の促進を図る） <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の交流・学習・地域活動を促進する拠点施設の整備により、住民が集い、自ら解決するしくみづくりを構築する。</li> <li>・新施設、既存施設が一体となって公共・公益ゾーンを形成し、住民と産学官などがネットワークを形成し、一体となったまちづくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業/高次都市施設/地域交流センター/交流拠点複合施設</li> <li>・基幹事業/地域生活基盤施設/広場</li> <li>・基幹事業/地域生活基盤施設/緑地</li> <li>・提案事業/地域創造支援事業/図書館整備</li> <li>・提案事業/地域創造支援事業/公民館等施設改修事業</li> </ul>
<b>整備方針2</b> （地域の農林水産物、地域産品等を情報発信とともに新ブランドを創造し地域経済の活性化を図る） <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の農林水産物とその加工品、工芸製品などの情報発信と加工、販売、新製品の開発を行う施設整備を行う。</li> <li>・チャグチャグ馬コ、岩手山、宮沢賢治など市内の観光資源の情報発信を行い、イベントにより、また周辺市街地との連携により、観光客を含めた経済交流を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業/高次都市施設/観光交流センター/産業雇用創造センター</li> <li>・提案事業/まちづくり活動推進事業/滝沢ニュータウン連携事業</li> <li>・提案事業/まちづくり活動推進事業/滝沢ブランド発信事業</li> <li>・提案事業/まちづくり活動推進事業/地域交流ネットワーク事業</li> <li>・提案事業/事業活用調査事業/事後評価事業</li> </ul>
<b>整備方針3</b> （防災に強い市と安心安全のネットワーク作り） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災の要となる防災広場を整備する。</li> <li>・防災訓練などを通し、地域における自主防災会の強化とネットワーク化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業/地域生活基盤施設/防災広場</li> <li>・基幹事業/地域生活基盤施設/調整池</li> </ul>

## その他

### ○市民活動支援センターの設置について

各地域活動や個人の学習や交流の受け入れ先になる団体の活動を支援するため、市民活動支援センターを新たに設置し、各団体が抱える共通の課題(役員後継者や新規加入の促進、魅力ある企画、活動の効果的PR、活動資金など)に応えるため団体間の交流・ネットワーク作り、各種研修(リーダー・ファシリテーター等の人材教育、広報誌・ブログ等を活用したPR術、財務その他の組織強化など)を行う。

### ○市役所前キャンパスの検討について

本市にある3大学の教授、学生等は、全国各地から訪れており、総合政策学部や社会福祉学部といった地域の効果的施策や地域福祉を学部のテーマに上げているところもある。これらの学のノウハウや学生の若い発想や行動力を地域交流センターでの学習や新企画、観光交流センターでの新ブランド創出などにつなげたいものである。

### 様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,624.8	交付限度額	1,449.9	国費率	0.4
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費			交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路	村道下鶴飼線	滝沢市	直	109m		25	27	25	27	20.9	20.9	20.9	20.9	20.9
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園														
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	地域防災施設	防災広場	滝沢市	直	6,577m <sup>2</sup>	24	27	24	27	200.5	200.5	200.5	200.5	200.5
地域生活基盤施設	地域防災施設	調整池	滝沢市	直	5,858m <sup>2</sup>	24	27	24	27	178.6	178.6	178.6	178.6	178.6
地域生活基盤施設	広場		滝沢市	直	987m <sup>2</sup>	24	27	24	27	30.1	30.1	30.1	30.1	30.1
地域生活基盤施設	緑地		滝沢市	直	3,216m <sup>2</sup>	24	27	24	27	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1
高質空間形成施設														
高次都市施設	地域交流センター		滝沢市	直	3,692m <sup>2</sup>	24	27	24	27	1,974.6	1,974.6	1,974.6	1,974.6	1,974.6
高次都市施設	観光交流センター		滝沢市	直	422m <sup>2</sup>	24	27	24	27	226.0	226.0	226.0	226.0	226.0
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,728.8	2,728.8	2,728.8	0.0	2,728.8

1

金額(元) 896.0

## 都市再生整備計画の区域

滝沢村役場周辺地区(岩手県滝沢市)

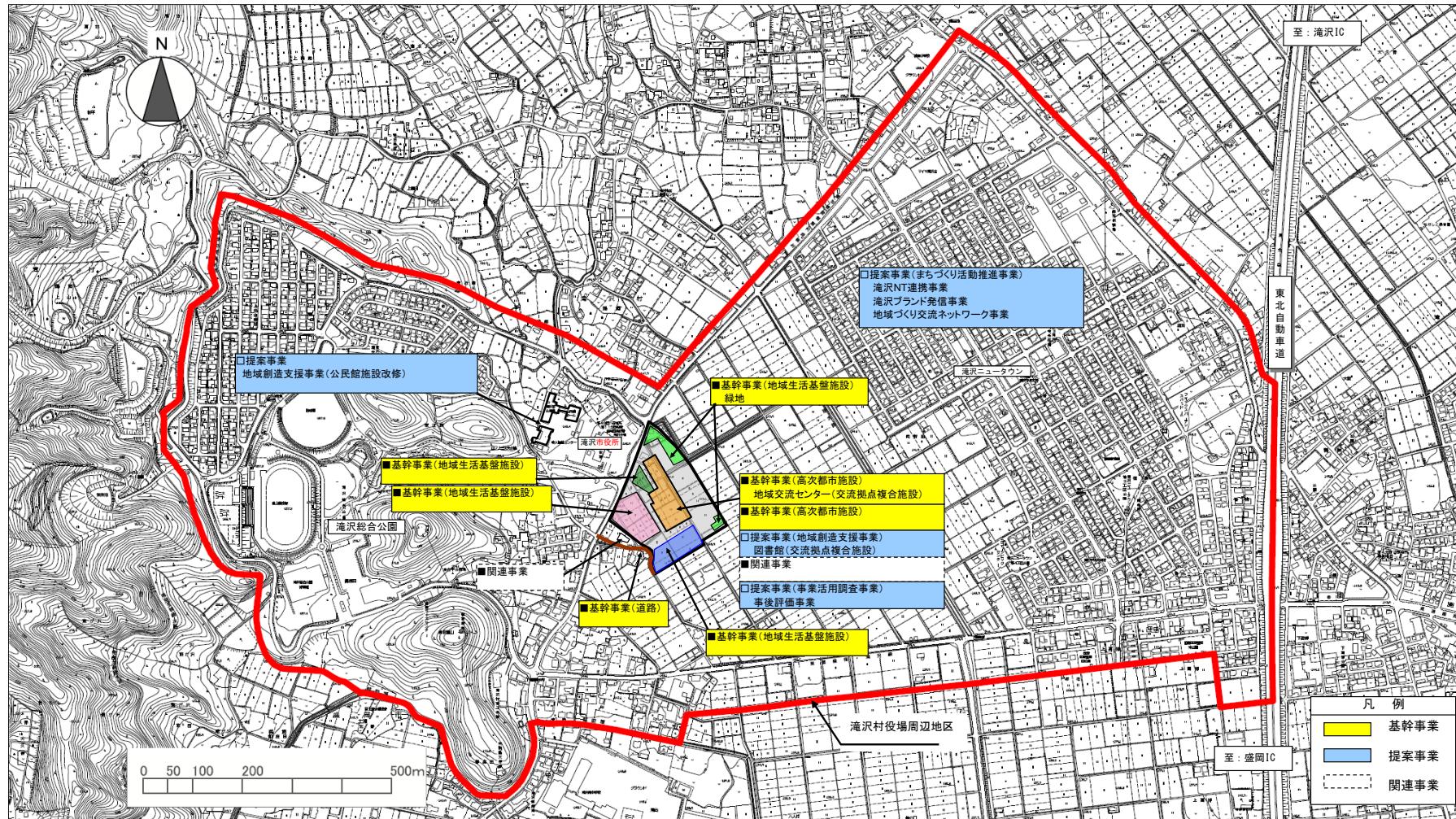
面積

215.6 ha

区域

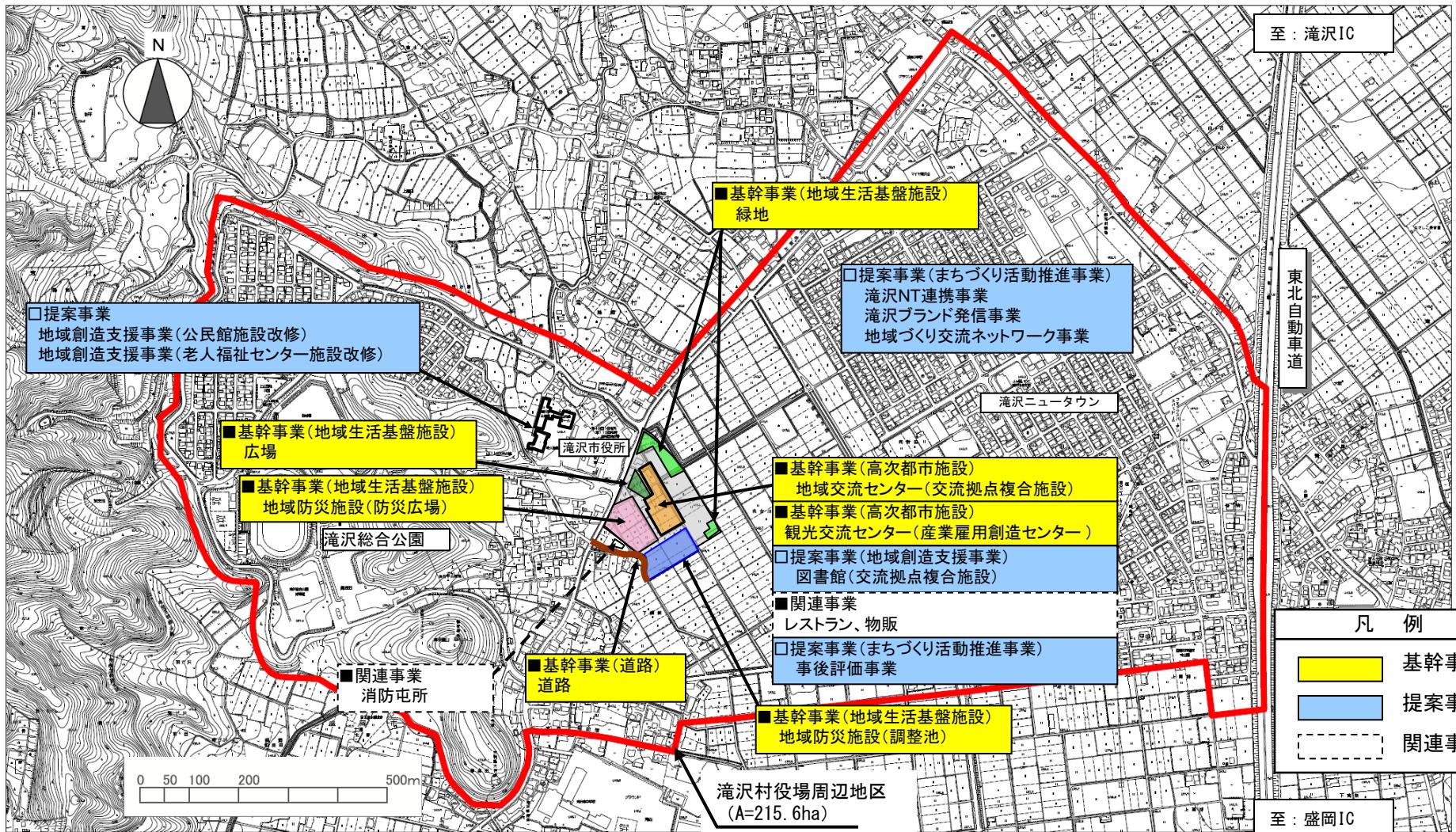
滝沢市鵜飼字鳥谷平、鵜飼稻荷、下鵜飼、中鵜飼、鵜飼先古川、鵜飼歓森、鵜飼向新田、鵜飼狐洞、鵜飼 笹森、の全部と鵜飼御庭田、鵜飼八人打、鵜飼淹向、鵜飼下高柳、鵜飼上高柳、鵜飼大綏の一部

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



## 滝沢村役場周辺地区(岩手県滝沢市) 整備方針概要図

目標	大目標: 滝沢市役所周辺に魅力ある行政・公益施設ゾーンを創出し、市民の交流と学習により活力あるまちづくりの拠点とする。 目標1: 公共施設等を整備し、住民の生活利便の向上を図る。 目標2: 市の情報発信・ブランド創出の拠点を整備し、交流人口の拡大を図る。 目標3: 市内の大学や人材を活用しつつ、交流を促進し、住民活動の受け入れ先としての組織の強化を図る。	代表的な指標	地域交流センターと図書館の利用者数 (人)	25,065 (H22年度)	→ 150,000 (H28年度)
			まちづくりコミュニティ交流回数 (回)	5 (H22年度)	→ 10 (H28年度)
			役場周辺地域のイベント回数 (回)	5 (H22年度)	→ 10 (H28年度)



# 社会资本総合整備計画

## 交流と学習による持続可能なまちづくり

いわて たきざわし  
岩手県 滝沢市

平成26年3月

## 社会资本総合整備計画

平成 年 月 日

(参考図面)

計画の名称	交流と学習による持続可能なまちづくり		
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	岩手県 滝沢市

